

# 淡路島において、コウノトリさん

洲本高校二年 辰岡輝音

## 研究動機

2022年の夏、南あわじ市の祖母の家に訪れた際、家の付近の電柱にコウノトリがとまっているのを発見しコウノトリの個体数を調べた時、淡路島におけるコウノトリの個体数や飛来地について興味を持った。そこから飛来地などの共通点を調べだし、淡路島において人とコウノトリが共存できる環境の提案を目的として探究を始めた。

## 疑問点

- ・なぜ淡路島にコウノトリの飛来数が少ないのか
- ・どのような場所によく飛来するのか

## 研究方法

コウノトリの飛来についてはQGIS…①やコウノトリ市民科学さまのWebサイト…②などを利用して、飛来地の共通点などをデータから分析する



- ①…コウノトリの過去二年間の最新位置情報を示す
- ②…QGISはコウノトリの生息地域や、飛来していくルートなどの問題を地図にして可視化させるのに使う。  
このアプリは、さまざまな情報を地図に重ねることができるため、コウノトリの飛来地情報や、森林の有無、水田の有無などその他の情報を重ね、共通点を書き出していくために使う。

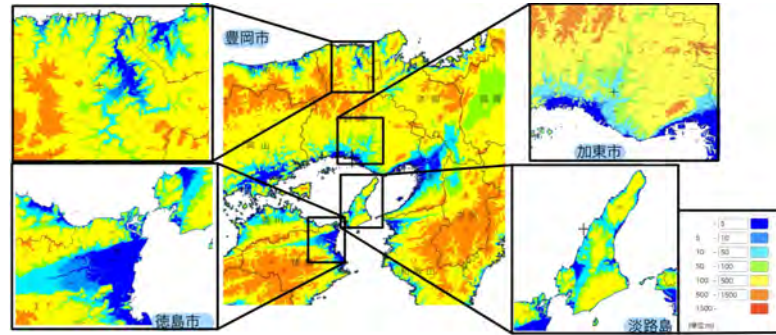
## 研究結果

### ・コウノトリの飛来について特徴

兵庫県内のコウノトリがよく訪れる場所である豊岡市と加東市、徳島市と淡路島とのデータを比較してわかったことについて。

- 1、起伏の激しいような土地での目撃情報が多いことから大きな山に囲まれた土地ではコウノトリが出現しやすいのではないか
- 2、海にすこし近い地域に出現しやすいのでは
- 3、盆地のような地形に多いのではないか
- 4、ため池や、ため池跡地に多い

### ・淡路島などその他地域の高低図



これらの結果から淡路島は地形的にも他のコウノトリがよく訪れる地域と比べて似ている点があるため、適しているのではないかと

## 考察

### ・淡路島におけるコウノトリの飛来数

立地的な観点から見ると淡路島に増えても良い環境であると考えられるが、なぜ少ないのか

### トンビによる影響

淡路島にはトンビの数が多く、それがコウノトリの飛来数を減少させているのではないかと

コウノトリ郷公園の職員さんの話によると、コウノトリは鳥の中でも強く、あまり脅威にはならないが、卵やヒナなどは狙われるかもしれない

そのため、淡路島内でのコウノトリ繁殖が難しいため、あまり島内で見られないのではないかと

### ・淡路島に飛来するコウノトリの特徴

淡路島にコウノトリが飛来する土地の特徴などをまとめると、ため池などの普段水が溜まっている場所が水が少なくなって露出している場所などに出現している可能性が高い

## 今後の展望

今後はコウノトリとトンビの関係性についてより深く見ていき、淡路島にコウノトリを呼び込める環境を見出す

## 参考文献

- ・コウノトリ郷公園 <https://satokouen.jp>
- ・コウノトリ市民科学 <https://stork.diasjp.net>